**EU SPRING 申 請 書**

**（2023年9月/10月入学生採用分）**

**１．【申請者情報等】**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請日　2025年　月　日

|  |  |
| --- | --- |
| （フリガナ）氏名 |  |
| 研 究 科 | [ ] 　理工学研究科[ ] 　連合農学研究科 |
| 研究課題名 |  |
| 国籍 |  |
| 申請者の連絡先 | E-mail：（携帯）電話番号： |
| 学籍番号 |  |
| 学歴(学部・大学院） | 1.（西暦）　年　　月　　　　　大学　　　　　学部　　　　　　　学科卒2.（西暦）　年　　月　　　　　大学大学院　博士前期課程・修士課程　入学　　　　　　　　（　　　　　　　　　　　研究科　　　　　　　　　　　専攻）3.（西暦）　年　　月 修了4. (西暦）　年　　月　　　　　大学大学院　博士後期課程・博士課程　入学　　　　　　　　（　　　　　　　　　　　研究科　　　　　　　　　　　専攻） |
| 職　　歴(アルバイトならびに大学でのTA等は除く) | 1. （西暦）　 年　　月 　 ～ 　　年 　　月2. |
| 博士後期課程又は博士課程の指導教員 | （フリガナ）氏名 |  | 職名 |  |
| 所属機関 |  |
| 部局 |  |
| E-mail |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 申請資格の確認 | 以下□にチェックしてください。すべてにチェックがなければ申請できません。[ ] 　私は、所属する企業等から年額240万円以上の給与、賃金、役員報酬等の安定的な収入を得ていません。*（※）選考・給付の際に、源泉徴収票や給与明細等の証明書類を提出していただくことがあります。*[ ] 　私は、生活費に係る年額240万円以上の給付型奨学金を得ていません。[ ] 　私は、日本学術振興会の特別研究員（内定している者も含む）ではありません。[ ] 　私は、国費外国人留学生制度による支援を受ける留学生ではありません。[ ] 　私は、本国からの奨学金等の支援を受ける留学生ではありません。 |
| 他の奨学金等の受給状況 | いずれかの□をチェックし、必要事項を記入ください。[ ] 　入学一時金を除き、いずれの奨学金も受給及び申請していません。[ ] 　以下の奨学金を受給することが決定しています。[ ] 　以下の奨学金を申請中です。1. 奨学金名称：

月額：　　　万円（期間：（西暦）　　年　　月　～　　年　　月）1. 奨学金名称：

月額：　　　万円（期間：（西暦）　　年　　月　～　　年　　月） |
| 日本への入国状況（申請時点） |
| いずれかの□をチェックしてください。　　　　　　　[ ] 　入国済　[ ] 　未入国 |

**２．【研究計画】**※適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。なお、本項目は2頁に収めてください。様式の変更・追加は不可、MSゴシック10P。

**(1) 研究の位置づけ**

取り組む研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記入してください。

**(2) 研究目的・内容等**

　① 取り組む研究計画における研究目的、研究方法、研究内容について記入してください。

　② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。

　③ 研究の特色・独創的な点（先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等）にも触れてください。

　④ 研究計画が所属研究室としての研究活動の一部と位置づけられる場合は申請者が担当する部分を明らかにしてください。

　⑤ 研究計画の期間中に受入研究機関と異なる研究機関（外国の研究機関等を含む。）において研究に従事することも計画している場合は、具体的に記入してください。

**(1) 研究の位置づけ**

**(2) 研究目的・内容等**

**３．人権の保護及び法令等の遵守への対応** ※本項目は１頁に収めてください。様式の変更・追加は不可、MSゴシック10P。

　本欄には、「２.研究計画」を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続が必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記入してください。例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、国内外の文化遺産の調査等、提供を受けた試料の使用、侵襲性を伴う研究、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の情報委員会や倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となりますので手続の状況も具体的に記入してください。

　なお、該当しない場合には、その旨記入してください。

**４．【研究遂行力の自己分析】**※各事項の字数制限はありませんが、全体で１頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。MSゴシック10。

　本申請書記載の研究計画を含め、当該分野における(1)「研究に関する自身の強み」及び(2)「今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素」のそれぞれについて、これまで携わった研究活動における経験などを踏まえ、具体的に記入してください。

*（※）本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。*

*・下記（１）及び（２）の記入にあたっては、例えば、研究における主体性、発想力、問題解決力、知識の幅・深さ、技量、コミュニケーション力、プレゼンテーション力などの観点から、具体的に記入してください。また、観点を項目立てするなど、適宜工夫して記入してください。*

*なお、研究中断のために生じた研究への影響について、特筆すべき点がある場合には記入してください。*

**(1)** **研究に関する自身の強み**

*（※）本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。*

*・記述の根拠となるこれまでの研究活動の成果物（業績リストの論文等）も適宜示しながら強みを記入してください。*

**(2)** **今後博士人材として更なる発展のため必要と考えている要素**

**５．【目指すキャリア】**※各事項の字数制限はありませんが、全体で１頁に収めてください。様式の変更・追加は不可、MSゴシック10P。

本プログラムは、我が国の科学技術・イノベーションに貢献する人材を育成し、多様なキャリアパスで活躍できる博士人材へと導くことを目的としています。この目的に鑑み、(1)「日本の科学技術・イノベーションへの貢献方法」、(2)「就職希望」を記入してください。

**(1)日本の科学技術・イノベーションへの貢献方法**

*（※）本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。*

*・現在の研究や修了後のキャリアの中で、どのようにして日本の科学技術・イノベーションに貢献しようと考えていますか。*

*いつ、どこで、何を、どのようにして、を意識して説明してください。「日本の」科学技術ですので、ご注意ください。*

**(2)就職希望**

◆修了後、就職を希望する職種を1つ選び、[x] を付けてください。

　[ ] 　アカデミア・公的研究機関に就職したい

　[ ] 　どちらかというとアカデミア・公的研究機関に就職したい

　[ ] 　どちらでもよい

　[ ] 　どちらかというと民間企業に就職したい

　[ ] 　民間企業に就職したい

　[ ] 　その他（　　）

◆修了後、就職を希望する国を1つ選び、[x] を付けてください。

　[ ] 　日本（海外の日系企業を含む）で就職したい。

　[ ] 　どちらかというと日本（海外の日系企業を含む）で就職したい

　[ ] 　どちらでもよい

　[ ] 　どちらかというと日本以外で就職したい（国名：　　）

　[ ] 　日本以外で就職したい（国名：　　）

**６．【研究業績リスト】**※全体でなるべく2頁以内に収めてください。MSゴシック10P。

① **提出〆切日より5年前までの業績**を記載し、下記例にならって通し番号を付けてください。

② 成果物（論文等）を記入する場合は、それらを同定するに十分な情報を記入してください。

(1)学会等での発表《国内学会、国際学会、シンポジウム・講演会等に分類》

口頭・ポスターの別、査読の有無を明らかにしてください。著者（プログラムに掲載の順番で全員を記載ください。）、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載してください。（発表予定のものは除く。ただし、発表申し込みが受理されたものは記載してもよい。）

(2)学術論文等《学術論文、総説・解説、その他に分類》

査読の有無を明らかにしてください。査読のある場合、採録決定済のものに限ります。著者（学術論文に掲載の順番で全員を記載ください。）、題名、掲載誌名、巻号、開始頁－最終頁、発行年、DOIを記載してください。

学術論文がある場合はそのpdfファイルを添付してください。

(3)受賞等　受賞者名、受賞対象の内容（題目）、受賞学会名、受賞年を記載してください。その他があれば記載してください。

*（※）本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。*

* *国内学会：自国内において、主に自国の研究者を対象に実施される大会。公用語は自国語。*
* *国際学会：基本的に世界の研究者を対象に実施される大会。自国で開催される場合も含む。公用語は英語等。*
* *プロシーディング及びアブストラクトは採点の対象としません。*
* *特許取得・出願中のものについては、(2)学術論文等の《その他》に記載してください。*
* *受賞等：対象となる「受賞等」は、所属大学を除く第三者機関によるもののみです。*

**(1)学会等での発表**

《国内学会》

(1)-1 愛媛太郎・松山花子、“〇〇〇〇の開発”、○○学会年会、Ａ－１、松山、2025年4月（ポスター、査読なし）

(1)-2 ・・・・・・・・・・

《国際学会》

(1)-3 Taro EHIME, Hanako MATSUYAMA, “Development of 〇〇〇〇”, Int. Symp. of ○○, B-1, Matsuyama, April 2025（口頭、査読あり）

《シンポジウム、講演会等》

(1)-4 ・・・・・・・・・・

**(2)学術論文等**

《学術論文》

(2)-1 Taro EHIME, Hanako MATSUYAMA, “Development of 〇〇〇〇”, Journal of 〇〇〇〇, 100(5), 2025

（査読あり）

(2)-2 ・・・・・・・・・・

《総説・解説》

(2)-3 ・・・・・・・・・・

《その他》

(2)-4 ・・・・・・・・・・

**(3)受賞等**

(3)-1 愛媛太郎、「〇〇〇〇の開発」、〇〇〇〇学会奨励賞　(2025)

(3)-2 ・・・・・・・・・・

**研究業績評価表**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | **研究科** | **氏　名** |
| **本　人** |  |  |
| **指導教員** |  |  |

**≪申請者が点数化して記入し、指導教員がチェックしてください。≫**

*（※）本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。*

*・対象となる研究は、6．【研究業績リスト】に記載したものです。通し番号の各研究の評価点を記入し、合算してください。*

**(1) 学会等での発表　［最大10点］**

（1発表毎に点数化のこと。発表申し込みが受理されたものを含む。本人の発表のみ。）

国内学会等での発表：口頭発表の場合2点、ポスター発表の場合1点

国際学会等での発表：口頭発表の場合4点、ポスター発表の場合2点

シンポジウム、講演会等での発表：口頭発表の場合2点、ポスター発表の場合1点

*<点数化記入例>*

［(1)-1］○点 ＋ ［(1)-2］○点 ＋ ・・ ＝ 12点（⇒ 最大点以上なので10点）

評価点（1）　　　 　点

**(2)学術論文等　［最大15点］**

（1掲載ごとに点数化のこと。査読のある場合、採録決定済みのものを含む。）

学術論文誌（査読あり）への論文掲載：ﾌｧｰｽﾄｵｰｻｰもしくはそれに相当する場合6点、他は2点

学術論文誌（査読なし）への論文掲載、総説・解説：ﾌｧｰｽﾄｵｰｻｰの場合2点、他は1点

その他への掲載：1点

*<点数化記入例>*

［(2)-1］○点 ＋ ［(2)-2］○点 ＋ ・・ ＝ ○点

評価点（2）　　　 　点

**(3) 受賞等　［最大5点］**

（1受賞ごとに点数化のこと。）

学会賞、奨励賞、論文賞、優秀講演賞、ポスター賞などの場合3点

*<点数化記入例>*

［(3)-1］○点 ＋ ［(3)-2］○点 ＋ ・・ ＝ ○点

評価点（3）　　　 　点

**研究業績評価点 《30点満点》：評価点（1）＋評価点（2）＋評価点（3）＝　　　　　点**

**EU SPRING申請者に関する評価書**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価書作成者 | 氏　　　名 |  |
| 所属機関名 |  |
| 部　局　名 |  |
| 職　　　名 |  |
| 申請者　　氏名 |  |
| 申請者との関係 | 指導教員 |
| 申請者の研究者としての実績、能力、将来性等、日本の科学技術・イノベーションの将来を担うに相応しい人物であるかどうか、指導教員としての所見を入力してください。 |
|  |